

令和3年度

社会福祉法人知多市社会福祉協議会

事業報告書

令和3年度 社会福祉法人知多市社会福祉協議会 事業報告

1 連携と協働の仕組みづくり

(1) 市民協働の推進

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	コミュニティ地域福祉活動推進事業	10コミュニティの地域福祉活動推進事業に前年度会費の20%の助成を行いました。	1,666,000	1,666,000	0
2	コミュニティ福祉活動協力事務手数料	共同募金運動(戸別募金)にご協力いただいた地区へ、それぞれ募金実績額の8%を協力事務手数料として支払いました。	369,000	368,575	425
3	第22回福祉フェスティバルの開催	新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。	3,158,000	3,528	3,154,472
4	総合ボランティアセンター管理運営事業	ボランティア活動の情報発信・交流の拠点として、幅広い活動支援を目指し、知多市総合ボランティアセンターの管理運営を行いました。 相談件数：289件 派遣件数：128件 センター来館者数：2,064人 (平均172人/月) 登録：団体65グループ 個人142人 活動：団体865人 個人243人	1,029,000	719,142	309,858

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	ボランティア 研修	<p>ボランティアのネットワークづくりや相互理解につなげ、継続的・安定的な活動を確保することを目的として、ボランティアセンター登録ボランティアを対象に実施しました。</p> <p>期日：11月25日 会場：市民活動センター 演題： 多世代が活動する 団体運営 講師： 織田元樹さん（特定 非営利活動法人ボラ みみより情報局） 参加者：18人</p>	60,000	54,615	5,385
6	団体ボランティ ア協働事業助成 金交付事業	<p>総合ボランティアセンターに登録する団体ボランティア活動の活性化、地域福祉事業を共に推進するために協働で事業を実施し、助成金を交付しました。</p> <p>助成額： 1団体100,000円上限 交付団体数：1団体</p>	200,000	100,000	100,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	団体ボランティア運営費等助成金交付事業	<p>団体ボランティアの育成及び活動を支援し、ボランティア活動を推進するため、ボランティアセンター登録団体の運営費及び物品購入費等に対する助成金を交付しました。</p> <p>運営費助成 対象： ボランティアセンター登録団体 上限：10,000円／1団体 交付団体：13団体 金額：95,000円</p> <p>物品購入費助成 対象： ボランティアセンター登録団体 上限額：10万円以内 採択団体： ガールスカウト愛知県第95団 金額：62,130円</p>	275,000	157,130	117,870

(2) 関係団体等との連携の推進

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	まちづくり人材育成事業	<p>総合ボランティアセンター・地域福祉サポートちた・市民大学ちた塾で構成する実行委員会が市から受託し、企画・運営に参画し、Zoomの基礎講座や市民活動について考えるグループワークを実施しました。</p> <p>期間：9月25日～12月4日 (全5回)</p> <p>会場： 市民活動センター、自宅</p> <p>参加者：14人</p> <p>話題提供者： 傾聴ボランティアうさぎ 地域ぐるみで子育て・子育ての会こころん、知多ビジョンプロジェクト、 渡邊弘子さん(ちた塾講師)、知多メディアネットワーク(株)</p>	実行委員会で予算計上		

(3) 活動・交流拠点の確保

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	ふれあい・いきいきサロン事業	<p>町内会等に根付いた形で無理のない開設支援・情報支援・活動支援を行いました。</p> <p>市内47か所 新規サロン： ふれあいサロン(つつじが丘4丁目)、みんなのサロン(朝倉団地)、なんたつサロンご近所の家(南巽が丘)</p>	266,000	139,851	126,149

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	総合ボランティアセンター運営委員会	ボランティア活動を推進するために総合ボランティアセンターの運営、活動、事業について関係団体より選出された8名で構成された運営委員で検討しました。 運営委員会：3回	5,000	992	4,008

(4) 福祉教育の充実

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	青少年ボランティア・市民活動体験事業	青少年を対象に団体ボランティア、NPO、福祉施設等でボランティア活動を体験する機会を提供しました。 期間：8月2日～8月31日 体験施設・団体数：32 参加者： 延べ183人、実人数145人 (中学生59人, 高校生83人, 一般3人)	188,000	135,272	52,728
2	親子ボランティア体験事業	子どもたちが人への思いやりや「お互い様の気持ち」を学ぶため、一年を通じて親子でボランティア体験ができる機会を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	10,000	0	10,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	発達障がい理解セミナー	<p>発達障がいを正しく理解するために、啓発セミナーを開催しました。</p> <p>期日：11月28日 内容： 「ディスレクシア（読み書き障がい）ってナニ？～LD疑似体験を通して～」 講師： ディスレクシア協会名古屋代表 吉田やすえさん 参加者： 会場75人 オンライン63アカウント</p>	227,000	34,108	192,892
4	ふくし川柳	<p>市内の小・中学校へ日常生活や実践教室等で感じたことを五・七・五の川柳として夏休みに募集しました。</p> <p>応募総数：1,784作品 特選3作品・秀作6作品 佳作6作品</p>	123,000	122,641	359

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	社会福祉協力校事業(実践教室・社会福祉文庫事業)	<p>市内の小・中学校の児童生徒を対象に、福祉に関する実践体験、気づき、振り返りを行い、障がいのある方等とふれあう機会を提供しました。また、社会福祉への理解と関心を高めるため市内の小・中・高等学校へ福祉に関する図書等の教材を配りました。</p> <p>実践教室 助成額：各校50,000円 助成実績：小学校10校 中学校5校</p> <p>体験学習 内容： 講話・車いす 手話・点字 ガイドヘルプ 要約筆記 介護体験 災害救援 高齢者疑似体験等</p> <p>長期プログラム 内容： 災害理解・高齢者理解 障がい理解プログラム (年間)</p> <p>社会福祉文庫事業 助成額： 各校20,000円上限 配本数： 小学校9校・中学校5校 高等学校1校 計121冊</p>	1,322,000	1,202,668	119,332

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
6	福祉教育 セミナー	<p>従来の疑似体験型の学習から生活機能に視点を当てる福祉教育プログラムを検討する機会として、市内の小・中・高等学校の教員を対象に開催しました。</p> <p>期日：8月6日 内容：「ともに生きる～ひきこもり・不登校から考える～」 講師：掛井一徳さん（かけい臨床心理相談室/臨床心理士・公認心理師） 参加者：17人</p>	52,000	32,976	19,024
7	民間保育所助成	<p>市内の民間保育所5か所へ、運営に必要な物品購入費用等の助成を行いました。</p> <p>対象保育園： 朝倉保育園 ゆめ保育園 SORA保育園 ひだまりの家 さざなみの家</p>	133,000	131,829	1,171

2 必要な支援を受けられる環境づくり

(1) 包括的な支援体制の構築

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	あんしんとなり組・災害時要援護者支援事業	<p>町内会単位でのあんしん見守りネットワーク活動の普及を図るため、各地域での座談会と全体研修会を開催しました。</p> <p>確認書締結地区：70町内会 あんしんとなり組、災害時要援護者支援研修会 期日：2月26日 内容： 「これまでの地域づくりに学ぶ これからの地域づくり～地域づくりに向けた支援と魅力ある自治組織について考えます～」 講師：水津陽子さん (地域活性化・まちづくりコンサルタント) 参加者：会場84人 オンライン43アカウント (確認書締結地区役員、民生委員児童委員、市・社協職員)</p>	210,000	76,876	133,124

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	傾聴ボランティア訪問支援事業	<p>孤独や不安を抱える高齢者や障がい者、その家族に対して孤独や不安等を和らげることを目的に傾聴ボランティアの派遣を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。再開に向けて、感染症対策をした活動内容を毎月検討しました。</p> <p>傾聴ボランティア訪問支援事業 活動内容： 利用者1人に対し、概ね月2回利用者宅、または集いの場への訪問 活動者： 傾聴ボランティアうさぎ 利用料：無料 登録利用者数：7人 打合せ会： 月1回（1・2月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）</p> <p>ボランティアフォローアップ研修 ボランティアとしての知識及び技術向上のため、開催しました。 内容： オンラインやICTのいろはを知って活動を考える～デジタル難民にならないために～</p>	159,000	20,600	138,400

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	買物支援ボランティア派遣事業	<p>買物弱者の高齢者等を地域ぐるみで支えるために、買物支援ボランティアを派遣し日常生活の支援を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。再開に向けて、感染症対策をした活動内容を毎月検討しました。</p> <p>買物支援ボランティア派遣事業 活動日： 月～金曜日 10:00～16:00(週1回1時間程度) 利用料：100円+燃料費200円 登録利用者数：7人 打合せ会： 月1回（2月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）</p> <p>ボランティアフォローアップ研修 ボランティアとしての知識及び技術向上のため、開催しました。 内容： オンラインやICTのいろはを知って活動を考える～デジタル難民にならないために～</p>	21,000	20,600	400

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	<p>知多市高齢者相談支援センター (知多包括支援センター)</p> <p>高齢者虐待相談センター</p> <p>認知症総合支援事業</p>	<p>高齢者の総合相談、介護予防サービスの総合的なマネジメントを社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師等の専門職が行いました。 また、高齢者虐待相談センター業務を市から受託し関係機関と連携を図りながら行いました。</p> <p>相談件数：11,019件 高齢者虐待に関する相談：935件 介護予防・事業対象者支援計画作成件数：7,798件</p> <p>介護者リフレッシュ交流会 9月10日 カラフルキャン ドル作りと疲労回復術 5人 11月16日 マジックとス トレッチ体操 7人 2月2日 折り紙と茶話会 5人(6月開催は新型コ ロナウイルス感染症の影 響により中止)</p> <p>介護予防フォローアップ 教室 回数：95回 参加者：延べ795人 内容： 健康体操(ヨガ、 ストレッチ、リズム体 操、チューブ体操等) (1月21日～3月21日は 愛知県まん延防止等重点 措置に伴い、全教室中 止)</p> <p>出前講座 回数：32回 内容： 高齢者相談支援センター 活動紹介、消費者被害、 認知症サポーター養成 講座、福祉協力校等</p>	154,510,000	130,555,303	23,954,697

認知症介護者交流会

回数：10回

会場：福祉活動センター

参加者：延べ69人

認知症家族支援プログラム

回数：6回

会場：

知多市市民活動センター

参加者：延べ83人

認知症総合支援事業研修会

回数：2回

期日：5月18日

内容：

認知症の家族支援

～介護家族の話から介護

者への気づきを学ぶ～

会場：

知多市福祉活動センター

講師：

認知症の人と家族の会

愛知県支部

尾之内直美さん

介護家族3名

参加者：3人

期日：3月29日

内容：

認知症の理解について

「認知症介護者家族の
支援」

「男性介護者のカフェ
を通して介護者支援を
考える」

会場：

知多市勤労文化会館

講師：

知多市高齢者相談支援

センター職員

参加者：31人

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	若者未来応援事業	<p>若者応援隊「まなざし」、サポートネットゆっか、市社会福祉協議会の三者による実行委員会方式で市から受託し、ひきこもり・不登校支援事業を実施しました。</p> <p>若者サポート進路を考える会 期日：9月26日 内容： 当事者体験談、学校の紹介、進路相談 参加者：36人 (オンライン)</p> <p>若者サポートセミナー 期日：12月5日 内容： 「不登校の時間が教えてくれたこと～不登校だからこそ気づけたたくさんの大切なこと～」 講師：棚園正一さん (漫画家) 参加者：会場55人 オンライン38アカウント 啓発活動 期間： 11月中旬～12月上旬 場所： 市内公共施設17施設 市内協力店舗7店舗 内容：ひきこもり・不登校に対する正しい理解・支援の啓発 部数：750部</p>			実行委員会で予算計上

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
6	ひきこもり合同 企画事業	<p>日本福祉大学とひきこもりの親の会「なでしこの会」と協働で、今後のひきこもり支援のあり方を考えるために合同企画事業を実施しました。</p> <p>期日：11月23日 会場：オンライン講演会 内容： 地域共生社会を目指すひきこもり支援 講師： 中川健史さん （NPO法人仕事工房ポポロ理事長） 平野方紹さん （立教大学コミュニティ福祉学部キャリア支援講師） 視聴人数：80アカウント</p>	53,000	50,000	3,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	生活支援体制整備事業（協議体運営支援事業）	<p>地域における生活支援サービスやネットワークを構築するために、市域の協議体（第1層）の企画運営に継続参加し、社会資源開発、人材育成、関係機関との調整・連携、広報等を行いました。</p> <p>会議 生活支援協議体委員会 回数：4回 生活支援コーディネーター第1層・2層会議 回数：12回</p> <p>広報 「ちたのふくし」に「地域包括ケアシステムだより」を年4回掲載</p> <p>地域共生社会づくりフォーラム 期日：3月13日 会場：福祉活動センター 内容： 知多市の我がごとまるごとのまちづくりを考える 講師：原田正樹さん （日本福祉大学教授） 参加者：会場35人 オンライン53アカウント</p>	1,440,000	1,440,000	0

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
8	生活支援体制整備事業（第2層コーディネーター）	<p>中学校区域（第2層）の生活支援体制を構築するために、地域診断、社会資源の開発、担い手の養成・発掘等を行いました。</p> <p>担当地区： 八幡中学校区 東部中学校区</p> <p>生活支援協議体委員会 生活支援コーディネーター 第1層・2層会議 回数：12回 コーディネート業務 八幡中学校区 （八幡地区） あんしんとなり組事業 取り組み方法の協議 八幡中学校区 （つつじが丘地区） 朝倉団地コミュニティ スペース運営支援 つつじが丘お助け隊立ち上げ支援 東部中学校区 （東部地区） サロンへの定期訪問 あんしんとなり組事業 取り組み方法の協議</p> <p>研修 (1)まちづくりワーク ショップinやわた 期日：8月22日 内容： 地域活動の整理、工夫 会場： 八幡コミュニティ センター 講師：篠原辰二さん （一社）Wellbe Design 理事長 参加者：36人</p>	7,400,000	7,400,000	0

		<p>(2)お互いさまの見守り 活動って?～北巽が丘～ 期日：12月18日 内容： 地域の見守り活動について 会場：北巽が丘集会所 講師：酒井保さん (ご近所福祉クリエイター) 参加者：29人</p> <p>(3)つつじが丘お助け隊 サポーター研修会 期日：3月27日 内容： 南粕谷おたすけ会活動 紹介・つつじが丘お助け隊説明会 講師：細岡昭夫さん (南粕谷おたすけ会会長) 参加者：24人</p>			
9	重層的支援体制整備移行準備事業	<p>令和4年度から開始する重層的支援体制整備事業について、移行準備を関係機関と進めるため、市の地域共生推進会議の共同事務局を担いました。</p> <p>会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備事業事務局会議 11回 ・重層的支援体制整備事業作業部会 9回 ・重層的支援体制整備事業担当者、講師等打合せ 8回 ・「重層的支援体制整備事業」及び「重層的支援体制整備事業への移行準備事業」実施自治体社協の情報交換会 2回 ・日本福祉大学地域ケア研究推進センター 包括的支援体制・重層的支援体制整備事業に関する研究会 3回 	1,000,000	1,000,000	0

- ・重層的支援体制整備事業
パンフレット打合せ
2回
- ・アドバイザー会議等出席
依頼 17回

広報

- ・「ちたのふくし」に重層的支援体制整備事業スタートのお知らせ
- ・重層的支援体制整備事業啓発パンフレットの作成

研修

(1) 知多市地域支援事業 学習会

期日：4月30日

場所：

オンライン研修
(福祉活動センター)

内容：

「地域共生社会」の実現に向けて～市町村における包括的支援体制の整備～

講師：清水修さん（厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域共生推進室室長補佐）

参加者：会場20人
オンライン25アカウント（市・社協職員）

(2) 重層的支援体制整備 事業 事例学習会

期日：5月14日

場所：

知多市勤労文化会館

内容：

重層的支援体制整備事業について事例を通して考える

参加者：74人

(3) 重層的支援体制整備
事業 包括的相談支援
オンライン学習会

期日：6月24日

場所：オンライン研修
(福祉活動センター)

内容：

「複合的課題をもつ世帯への支援を行う全庁的な相談支援のしくみづくり」と「重層的支援体制整備事業の取り組み」について

講師：石川県輪島市職員
参加者：作業部会員

(4) 重層的支援体制整備移行準備事業情報交換会

第1回 期日：4月13日

場所：福祉活動センター

内容：

重層的支援体制整備事業に関する講義・今後に向けて

第2回 期日：4月20日

内容：

知多市における重層的支援体制整備事業の準備にあたって

第3回 期日：8月11日

場所：福祉活動センター

内容：

知多市における取組課題について意見交換

(5) 地域共生社会づくり

フォーラム

期日：3月13日

場所：オンライン研修
(福祉活動センター)

内容：

知多市の我がごとまるごとのまちづくりを考える～重層的支援体制整備事業～

参加者：会場35人

オンライン53アカウント

講師：原田正樹さん

(日本福祉大学教授)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
10	特別支援教育を考える交流会	<p>発達障がいについて、保護者と学校の連携を深めるために交流会を開催しました。</p> <p>期日：8月30日 内容：スクールカウンセラーにできること 講師：中原千種さん（臨床心理士） 参加者：会場17人 オンライン10アカウント</p>	24,000	22,600	1,400
11	生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業）	<p>市内在住の生活困窮者に対して相談支援員が困りごとを整理し、自立に向けた個別プランを作成しました。また、関係機関と連携し、課題解決に向けた支援を行いました。</p> <p>新規相談人数：300人 相談実人数：1,553人 相談対応件数（延べ）：3,552件 住居確保給付金申請：19件 住居確保給付金（延長）：10件、（再延長）5件、再々延長 3件 住居確保給付金再申請：11件</p>	13,956,000	13,903,262	52,738
12	生活困窮者自立支援事業（家計改善支援事業）	<p>相談者の家計の見直しや債務整理、税の分納相談に同行する等、家計改善に向けての助言を行いました。</p> <p>家計改善プラン作成：13件 相談実人数：61人 相談対応件数（延べ）：636件</p>	5,349,000	4,297,346	1,051,654

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
13	フードバンク 事業	生活困窮者が緊急かつ一時的に生活支援を必要とする際に生活の再建を図るため、食料支援を行いました。 フードバンク：101件 フードドライブ：73件	160,000	160,000	0
14	日常生活自立支援事業	日常生活に不安を抱えている認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続きの援助、利用料の支払い等、適切な援助を行いました。 利用契約者数：11人	1,425,000	734,976	690,024
15	資金貸付事業	低所得者・障がい者・高齢者・新型コロナウイルス感染症の影響により減収、離職した方等に対し、資金貸付と相談・支援により経済的自立や社会参加の促進を図りました。 生活福祉資金 緊急小口資金特例貸付： 173件 総合支援資金特例貸付： 127件 総合支援資金特例貸付 (延長)：24件 総合支援資金特例貸付 (再貸付)：91件	12,922,000 (生活福祉資金) 10,370,000 (つなぎ資金) 2,542,000 (旅費欠乏者援護) 10,000	10,586,108	2,335,892

	生活応援まごころセット： 200件（フードドライブで いただいた食材等を相談者へ 配布） つなぎ資金 貸付件数：13件 貸付総額：245,000円 償還件数：74件 償還総額：609,500円 償還免除：4件 償還免除金額：87,500円 旅費欠乏者援護 貸付件数：0件			
--	---	--	--	--

(2) 情報提供の充実

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	社協だより「ち たのふくし」の 発行	社協の活動を市民に広く周 知し、福祉への理解、関心 を高めるために年4回、全 戸配布しました。 主な掲載内容 7月：事業報告、決算報 告、社協会員制度 10月：共同募金運動、会員 加入お礼 1月：ボランティア講演 会、ふくし川柳紹介、共 同募金運動協力お礼 4月：福祉体験作文コン クール入選作品紹介、在 宅福祉サービス一覧、事 業計画、予算、会員募集 お願い 毎号掲載 高齢者相談支援センター 通信 自立生活サポートセン ター通信 ボランティア通信 地域包括ケアシステムだ より ふれあい・いきいきサロ ンリレー 相談・居場所案内、寄附 報告	4,256,000	4,130,360	125,640

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	ホームページ 事業	<p>ホームページ、フェイスブック、ブログ等のSNSを活用し広く、情報発信に努めました。新たに公式インスタグラムを開設しました。</p> <p>内容： 各事業案内、募集、事業報告、収支決算、事業計画、収支予算、赤い羽根作品コンクール・ふくし川柳入賞作品等</p>	266,000	259,764	6,236
3	視覚障がい者情報提供事業	<p>視覚障がいのある方に音訳・点訳により「ちたのふくし」・「広報ちた」等の情報提供を行いました。また、音訳情報のCD化と音訳図書の設定を総合ボランティアセンターで継続して行いました。</p> <p>利用者数：13人 発送数： [音訳数] 302本 [点訳数] 155冊 音訳図書貸出件数：0件 協力団体： 声のたより「青空」 情報録音ボランティア「じゅげむ」 視覚障がい者サービスグループ「ルポン」 点訳サークル「てんてん」</p>	135,000	87,780	47,220

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	情報誌発行事業	<p>ボランティアタウンちた 総合ボランティアセンター に登録する個人・団体の情 報を市民へ広く発信し、ボ ランティア活動に関心を 持っていただくために「ボ ランティアタウンちた」を 発行しました。</p> <p>したい人、しりたい人編： 500部 してほしい人編：800部 配布先： 市内公共施設、店舗、 民生委員等の関係者 内容： センター利用ガイド、 派遣手続き、グループ 紹介</p> <p>ちたのふくし（ボランティ ア通信） ボランティア情報の発信 と活動への関心を高める ために発行しました。 回数： 4回（7月・10月・ 1月・4月） 配布方法：全戸配布</p>	891,000	644,096	246,904
5	手話奉仕員養成 講座「基礎編」	<p>聴覚障がい及び聴覚障がい 者への理解と、聴覚障がい 者とのコミュニケーション 手段である手話の基本的な 知識と技術習得のために開 催しました。</p> <p>期間：5月～12月 回数：23回 講師： 知多地区聴覚障害者支 援センター及び協力者 参加者：12人</p>	682,000	630,200	51,800

(3) 災害時の支援体制の整備

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	災害ボランティアコーディネーター基礎力向上講座	<p>災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者に基本的な反復演習を提供することで地域力の底上げを図るために開催しました。また、新型コロナウイルス等防疫対策を施した新しい手順の習得をしました。</p> <p>期間：7～11月 回数： 10回（内2回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止） 講師：西川賢次さん（防災士）、河合美恵子さん（防災士） 参加者：37人 延べ人数：164人</p>	533,000	442,600	90,400
2	災害時対応物品整備事業	<p>災害時、社協の初動その他活動に必要な物品の整備を行いました。新型コロナウイルス感染症予防対策として、防疫物品等を追加購入しました。</p>	263,000	171,600	91,400
3	災害救援ボランティア派遣事業	<p>災害時にバスを借り上げ、災害ボランティアコーディネーターや個人ボランティアを中心としたボランティアを被災地に派遣し、被災地の復興を支援しますが、今年度は要請がなかったため、未実施。</p>	—	—	—

3 誰もが参加できる活動の場づくり

(1) 健康づくり・介護予防の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	介護保険外対応 ホームヘルプ事 業（生活応援 サービス「かが やき」）	入退院時や病院内の介助 等、介護保険制度では対象 とならないサービスを提供 しました。 利用回数：78回	252,000	192,790	59,210

(2) 生きがいつくりと社会参加の促進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	総合ボランティア センターミニ 講座	総合ボランティアセンター に登録しているボランティ アが講師・協力者となり、 日頃の活動を市民に広く提 示、提供しました。 回数：21回 （計画25回、中止4回） 参加人数：延べ144人	—	—	—
2	移送サービス 事業 車いす貸し出し 事業	移送サービス事業 車いすを使用され外出が困 難な方に福祉車両の貸し出 しを行い、社会参加支援を 行いました。 福祉車両： 車いす対応車両2台 利用件数：34件 利用者登録数：19人 車いす貸し出し事業 高齢者、身体障がい者・傷 病者の方などに車いすを貸 し出し、日常生活の便宜を 図りました。 保有台数：47台 貸出件数：139件	718,000	325,064	392,936

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	ひきこもり訪問 支援事業	<p>ひきこもる本人に対して、身近な相談相手として訪問を通じた支援を行う「ひきこもり訪問サポーター」を派遣し、対象者の抱える不安や悩みに寄り添いながら、共通する趣味や関心事から関係性を築き自己肯定感の回復と向上を図りました。</p> <p>内容： 自宅又は集いの場における相談学習支援</p> <p>費用： 700円／時間及び燃料費 実費相当分</p> <p>活動者： 若者サポート風の会 利用登録者数：5人 利用件数：延べ0件</p> <p>ひきこもり訪問サポーター フォローアップ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>ひきこもり訪問サポーター 打合せ会 回数：1回 参加人数：5人</p>	17,000	2,580	14,420
4	ひとり暮らし高齢者への年賀状 郵送事業	ひとり暮らし高齢者に年賀状を通じた交流を行うため、ボランティアグループに助成をしました。	65,000	65,000	0

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	障がい者居宅介護等事業	<p>身体障がい、知的障がい、精神障がいのある方にホームヘルパーを派遣してそれぞれに応じた身体介護・家事援助等を行い、自立した生活の支援をしました。</p> <p>利用回数：居宅介護3,327回 移動支援97回</p>	24,719,000	17,540,187	7,178,813
6	母子家庭等日常生活支援事業	<p>母子家庭・父子家庭等で就職活動、疾病、生活環境の変化等により生活援助が必要な家庭にホームヘルパーを派遣して、保育、調理、洗濯などのサービスを提供します。</p> <p>利用回数：なし</p>	1,000	0	1,000
7	各種福祉団体の支援	<p>民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協議会、手をつなぐ育成会、子ども会連絡協議会、遺族会の事務局として、団体の事業や運営を支援しました。また、助成金を交付し、活動を支援しました。</p> <p>民生委員児童委員協議会 200,836円（運営費） 身体障害者福祉協議会 50,000円（事業費） 子ども会連絡協議会 69,000円（運営費） 子ども会連絡協議会 50,000円（事業費）</p>	420,000	369,836	50,164

(3)多様なつながりと交流の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	ボランティア 講演会	<p>市内でボランティア活動している・関心のある方との交流・相互啓発を通じて、ボランティアの輪を広めることを目的にボランティア連絡協議会と協働開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、急遽講師と会場をつなぐオンライン形式に変更しました。</p> <p>期日：2月11日 会場：知多市勤労文化会館 内容： パラリンピックから学ぶーともに輝くために私たちができることー 講師： 道下美里さん（東京2020パラリンピック女子マラソン（視覚障がい）金メダリスト）、青山由佳さん・志田淳さん（伴走者） 参加者：129人</p>	1,283,000	1,282,967	33
2	ボランティア 連絡協議会への 助成	市内のボランティアグループで組織するボランティア連絡協議会に対して交流会事業等の活動費を助成しました。	121,000	121,000	0

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	発達障がいサポーターフォローアップ事業	<p>発達障がいのある子どもとその家族を地域で支えるために、子どもの自己肯定感を育む居場所支援サポーターの養成・研鑽のために開催しました。</p> <p>期日：4月17日 講師：近藤直子さん（あいち障害者センター理事長） 参加人数：22人（内登録22人）</p>	31,000	31,000	0
4	フリースペース「ひみつきち」（発達障がい児居場所づくり事業）	<p>発達に不安のある子どもとその保護者とともに、一人ひとりが安心して過ごせる家庭的な居場所を設けました。</p> <p>回数：11回 （9・2月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止） 開催：夏休み（3回）、第3土曜日（8回） 会場：福祉活動センター他 内容：レクリエーション、社会参加体験等 参加人数：利用者52人、家族143人、ボランティア60人（いずれも延べ）</p>	417,000	111,356	305,644

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	フリースペース 「まな」 (ひきこもり・ 不登校居場所づ くり事業)	ひきこもり・不登校で悩ん でいる本人や家族をありの ままに受け入れる居場所を 設けました。 回数： 15回（新型コロナウイルス 感染症の影響により 8回中止） 開催：毎月第2・4土曜日 会場：福祉活動センター他 内容： 自由に話し合える居場所 とレクリエーション等 参加人数： 利用者20人、家族1人、 ボランティア5人、見学 者・協力者14人（いずれ も延べ）	220,000	68,019	151,981
6	長期・年長ひき こもりを抱える 家族の集い	ひきこもりの子を持つ家族 同士が悩み等を自由に話し 合うことで、ひきこもる本 人に対する理解を深めたり 、対応の仕方等を情報交 換したり、家族自身の持つ 力を取り戻すために開催し ました。 回数： 3回（新型コロナウイルス 感染症の影響により 1回中止） 開催：5・8・11・2月 第4月曜日	20,000	0	20,000

信頼される社協づくり

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	会員募集	<p>自主財源確保のため、会員の加入促進を各コミュニティを通じて行いました。また、市内法人社、関係機関へ直接依頼しました。</p> <p>会費収入 一般会員(500円) 15,349件 7,674,500円 特別会員(1,000円以上) 481件 472,000円 法人会員(3,000円以上) 160件 768,000円 合計 8,914,500円</p>	663,000	583,620	79,380
2	ちよこつと募金	<p>市内各店にちよこつと募金箱を設置し、広く市民に呼びかけボランティアセンター事業財源の確保に努めました。</p> <p>設置数：28店・施設 募金額：73,718円</p>	3,000	1,764	1,236
3	福祉功労者顕彰	<p>市内の福祉増進に貢献のあった方等を顕彰規程に基づき、表彰しました。併せて、ふくし川柳、赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール入賞者の表彰をしました。</p> <p>会長表彰：27団体・個人 会長感謝：22団体・個人 ふくし川柳：15人 赤い羽根協賛児童作品コンクール：14人 期日：10月23日 会場：福祉活動センター</p>	73,000	73,000	0

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	役員研修	<p>理事、評議員に対して重層的支援体制整備事業における社会福祉協議会の役割について研修を行いました。</p> <p>期日：8月11日 会場：福祉活動センター 内容： 「重層的支援体制整備事業における社会福祉協議会の役割」 講師：原田正樹さん （日本福祉大学教授）</p>	33,000	0	33,000
5	職員研修	<p>職員の資質向上のために一般事務員、高齢者相談支援センター職員、介護支援専門員、ホームヘルパーを対象に組織的、職能的、技術的な研修を実施しました。</p> <p>内容： 新規採用職員研修、キャリアパス研修、CSW研修、ボランティアコーディネーター研修、主任介護支援専門員研修、東海北陸ブロック社会福祉協議会職員研究協議会、職員全体研修等</p>	423,000	407,075	15,925
6	第3次知多市社会福祉協議会発展強化計画策定	<p>第4次知多市地域福祉計画のアクションプランとして、また、社協の基盤強化計画として令和4年度から9年度までを計画期間とした発展強化計画を策定しました。</p>	542,000	495,000	47,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	福祉活動センターの管理運営	<p>主に各福祉団体・ボランティアグループ等の活動拠点として、継続して指定管理を受けサービスの向上に努めました。</p> <p>年間利用者数： 1,296件 12,177人</p>	10,338,000	10,075,728	262,272
8	自動販売機設置事業	<p>市内公共施設に自動販売機を設置し、収益を事業に充当しました。</p> <p>設置台数：市内6か所7台 設置場所： 歴史民俗博物館、青少年会館、福祉活動センター、消防署八幡出張所、ふれあいプラザ、こども未来館 事業収入：795,149円</p>	552,000	466,458	85,542

介護保険事業等の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	障がい者相談支援センター 特定相談支援事業	<p>障がいのある方やその家族等への情報提供、相談、支援を行う障がい者相談支援センターを3法人（知多福祉社会、NPO法人びすた〜り、知多市社会福祉協議会）で共同運営しました。 特定相談支援事業では、サービス利用計画の作成等を行いました。</p> <p>事業所名： 障がい者相談支援センター 相談実人数（3法人）： 408人 障がい者相談件数（3法人）：13,198件 事業所名： 障がい者計画相談支援事業所しゃきょう サービス利用等計画作成件数（計画案含む）：35件</p>	9,149,000	8,886,679	262,321
2	訪問介護事業	<p>要介護の方の排泄等の身体介護、調理や洗濯等の家事援助、要支援の方の予防訪問介護のサービスを提供しました。</p> <p>事業所名： 社協ヘルパーステーション サービス提供時間： 年中無休7時～21時 訪問介護利用回数：6,847回 介護予防訪問介護利用回数：1,788回</p>	62,078,000	52,931,032	9,146,968

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	居宅介護支援 事業	<p>居宅介護支援（ケアプラン作成）、介護予防支援（介護予防ケアプラン作成）と要介護認定調査を行いました。</p> <p>事業所名： 社協介護支援センター 居宅サービス計画作成 件数：介護 305件 介護予防 102件</p>	22,210,000	20,688,129	1,521,871